2019/7～2019/12

会報

■常滑ライオンズクラブ会長スローガン
楽しくなければライオンズではない
～楽しさ集めてウィ・サーブ～

ライオンズスローガン
■ 国際会長
We Serve（多様性でウィ・サーブ）
■ 334 - 複合地区
"We Serve" 心を合わせて多様な奉仕
■ 334 - A地区
「未来に向かって、感動の奉仕にウィ・サーブ」

ライオンズクラブ国際協会 334-A 地区　5R1Z

TOKONAME LIONS CLUB

クリスマス家族会

愛知県国際展示場への車椅子寄贈・引き渡し

常滑ライオンズクラブへのアクセスは　http://www.tokoname-lc.jp

常滑ライオンズクラブ

〒479-0843 愛知県常滑市多屋字茨廻間 1-111
ＪＡあいち知多　総合本部ビル内
TEL:0569-35-0771　FAX:0569-35-0768
E-mail office@tokoname-lc.jp

今年度三役紹介

「会長挨拶」
2019-2020年　常滑ライオンズクラブ　会　長　　権田　泰一

時の過ぎるのを速く感じるのは歳のせいでしょうか。早いもので、任期の半分がもう過ぎてしまいました。会員諸兄のご理解と温かいご支援のお陰で、計画しました行事も委員長さんの英知に助けていただき、大変スムーズに進められてまいりました。本年度のテーマ通りの大変楽しいライオンズ活動ができていると勝手に喜んでいます。

しかしながら常滑ライオンズクラブの底力は理事会にありました。皆様の冷静かつ前向きな姿勢に改めて敬意を表します。

こうした地域に根を下ろし、地道な活動がライオンズクラブの魅力であると思いますので、これからも「地域のための奉仕活動」を展開したいと思います。

会員拡大については欠くことのできない課題ですが、まず会員同志が楽しく参加し、活動できることが必要と考えています。このクラブにずっと居たいと思って欲しいのです。

特に本年度はそこに重点を置き、楽しく話し合える集会や、ご家族に理解をしていただけるための家族会等、参加したくなるような魅力ある行事の実現を計りたいと考えます。

皆様の参画とご協力・ご意見をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

「楽しさ半分過ぎました」
2019-2020年　常滑ライオンズクラブ　幹　事　　藤井　良秀

会長テーマ「楽しくなければライオンズでない！」のもと半年が過ぎました。

楽しいが中心にありますので何を考えても楽しさ１００倍です。

ハッピーチューズデイ、誕生日記念品そして例年にはないハロウィンやクリスマス会などお子様にも楽しんでいただける企画をしてまいりました。今までにはあまりないパーティーの雰囲気やメンバーの皆様やご家族の「笑顔」がとても印象的でとても楽しんでいただけたと思います。前半は子供に寄り添ってきましたので後半は、少し大人向きに更に楽しんでいただける例会や旅行など力を抜かずにパワーアップしていきたいと思います。まだまだ楽しさ続きますのでお楽しみに！

メンバーに愛される幹事を目指して一年間頑張ります。

「楽しく明るく元気に活動してまいります。」
2019-2020年　常滑ライオンズクラブ　会　計　　阿知和洋介

準備段階からわからないことばかりで、権田泰一会長、藤井良秀幹事にはご迷惑ばかりおかけしております。そんな入会４年目のわたくしですが、権田会長のやさしさ、藤井幹事の細やかさ、事務局の上村克恵さんの仕事の速さに助けられ、日々活動を楽しませていただいております。

今期に入り、クラブ内外の様々な活動を通して、多くのライオンズメンバーと出会う機会をいただき、歴史と伝統のある常滑ライオンズクラブのすばらしさと、先輩方のライオンズに対する高い見識と深い愛情を肌身で感じ、奉仕活動に対する刺激をいただいております。

会計という立場で様々な場面において日々勉強をさせていただいておりますが、皆様の足手纏いにならぬよう、会長テーマ「楽しくなければライオンズではない！」をお手本に、「楽しく明るく元気に」を目標にライオンズの活動に努めてまいります。１年間よろしくお願いいたします。

◆常滑市長へ表敬訪問

第1495回　7月第1例会「会長スピーチ」
2019.07.02（火）　12:15～13:30

担当：会則財務・出席計画委員会
於：定例会場

◆例会セレモニー

新年度最初の例会が、定例会場で開催されました。

誕生日祝い品贈呈
松下英勝さん、お誕生日おめでとうございます。

今年度、新たな取り組みで、「Happy Tuesday」が実施されます。
第1例会では、抽選で一名に、ステキなプレゼントが当たります。

◆例会行事

会長テーマについて、スピーチがありました。

会長スピーチ
会長テーマ「楽しくなければライオンズではない」～楽しさ集めてウィ・サーブ～
とにかく、何事も楽しくやろうという権田会長の方針を熱く語っていただきました。
藤井幹事からは、今年度のクラブ運営について説明がありました。
一年間、楽しく活動できることを期待しています。

第1496回　7月第2例会「ZC訪問例会」
2019.07.16(火)　12:15～13:30

担当：会則財務・出席計画委員会
於：知多半島ケーブルネットワーク

◆例会セレモニー

7月第2例会は、CCNC本社ビルコミュニティーホールで行われました。
5R1Z ZC 横田貴次様をお迎えしてスピーチをいただきました。

第1回目のZC訪問として、スポンサーでもある常滑LCに訪れることは光栄です。祖父が常滑焼の粘土を掘っていたと言うことですので、ご縁を感じます。
今年は、ZCとして、各クラブの活動を支援していけるように努力して参ります。
職務としてガバナー方針を伝達いたします。地区では、今年度も会員減少が大きな問題となっております。それぞれのクラブの事情や地域性があると思いますので、その部分は考慮しますが、目標としては10%増を掲げていただきたいと思います。単なる数増やしではなく、クラブの伝統とプライドを持った拡大に取り組んでいただきたいと思います。常滑からは、会員増強・GMT委員長のL.富田もいらっしゃいますので、ご協力をお願い申し上げます。
また、LCIF献金も例年並みを要望しております。女性目線でのきめ細やかな活動も大切になっていますので、女性会員の拡大も期待するところです。
よろしくお願いします。

会長挨拶
この時期にしては涼しい日が続いています。体調には、十分ご注意ください。
今年のテーマである楽しい例会を、今日も目指します。
この後、映像で先日のウエルカムパーティーの様子が紹介されました。

◆YCE来日生・ホストファミリー紹介

YCE来日生
Milou KAMPEN さん（オランダ）
２年前に友人がYCE事業に参加したのを聞いて、私も是非参加したいと思っていました。日本はとても美しい国で、人々も素晴らしいです。いろいろな体験もできました。ライオンズクラブやホストファミリーに、この様な機会をいただいたことに感謝いたします。

山口加根子さん
（ホストファミリー）
この様な機会をいただき、また様々なご支援をいただき感謝します。特に、担当の伊奈委員長には、高校訪問や雛子の練習見学、ロクロ体験など、ご手配をいただきありがとうございました。家族にとっても楽しい時間であり、日本を改めて見直す機会にもなりました。Milouが又日本に来たときは、大歓迎で迎えたいと思います。

◆例会行事

地区出向者へガバナーからの委嘱状の伝達です。

昨年度例会100%出席者の表彰です。36名でした。

この後、昨年度の決算報告、本年度予算案の発表と承認がありました。

第1497回

8月第1例会「納涼例会」　担当:マーケティングコミュニケーション・会員委員会
2019.08.06(火)　18：00～20：30　於:懐石料理　丸十

◆例会セレモニー　8月第1例会は、常滑クラブ育ての親である名古屋ライオンズクラブの皆様をお迎えして、海を見渡せる「丸十」で開催されました。

会長挨拶

連日猛暑が続いていますが、体調はいかがでしょうか？今日は、台風も心配でしたが無事に開催できて嬉しく思います。

名古屋LCの皆様には、日頃からお世話になっており、ありがとうございます。今年度も、スタートしてまもなく、メンバーの皆様にはいろいろとご心配をおかけしますが、今日も楽しい例会にしたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

名古屋LC会長 正木健司様 挨拶

名古屋クラブ第65代の会長を務めております。歴代会長で最も若い43歳です。

今日は、一度やってみたかったロクロを体験する機会をいただきありがとうございました。思った以上に難しかったですが、出来上がりが楽しみです。

名古屋クラブは、本年度65周年を迎え、9月29日にCN記念例会を開催します。多くの皆様にご参加いただければ幸いです。

名古屋LC　CN記念例会のPR

65周年を迎え、9月29日に、CN記念例会を開催します。5の周年と言うことで、記念事業は、従来のアクティビティの踏襲ですが、節目の式典を開催しますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

誕生日祝い品贈呈

大宮充晴さん、東　公大さん、亀岡基幸さん、おめでとうございます。

大宮さん「29歳になります。若さを発揮して楽しみたいと思います」

◆納涼懇親会

斎田正彦第1副会長のウィサーブで、懇親会の始まりです。

テーブル対抗の利き酒クイズや、目の前の海岸からの打ち上げ花火など、アトラクションを交えながら楽しいひとときを過ごしました。

第1498回

8月第2例会「5R1Z合同例会・ガバナー公式訪問」　担当：マーケティングコミュニケーション・会員委員会
2019.08.27(火)　14:00～15:30　於：美浜町総合公園体育館

◆L．根岸昭雄 ガバナー公式訪問

美浜町総合公園体育館サブアリーナにて、ライオンズクラブ国際協会 334- A地区
根岸昭雄ガバナーの５Ｒ１Ｚ公式訪問が、１Ｚ合同例会として開催されました。

女性会員・家族会員を含めた会員増強、地域に必要とされるアクティビティの再検討、会員育成のための研修、世界中の子どもたちの笑顔のためにＭＪＦ寄付金協力、クラブメンバーへの負担軽減と、５項目の基本目標をお話しいただきました。

それらを実現するには、グローバルアクションチーム（ＧＭＴ）によるクラブの活性化、地域との関係を深めるマーケティングコミュニケーション、ＬＣＩＦへの協力と交付金の活用など、活動方針を示されました。

全体会閉会後には、ガバナーを始め地区役員と各クラブ役員との懇談会が開かれ、率直な意見交換が行われました。

第1499回

9月第1例会「ゲストスピーチ」　担当：指導力育成・グローバルアクション委員会
2019.09.03(火)　12:15～13:30　於：定例会場

◆例会セレモニー　９月第１例会は、多くのゲストをお迎えして、定例会場で開催されました。

会長挨拶

暑い日が続いています。各地では、豪雨などで大きな災害が発生しておりますが、幸いこの地域では災害に見舞われることなく、ありがたいことです。

先日、愛知県国際展示場に車椅子を寄贈し、愛知県知事から感謝状をいただきました。

本日の講師は、今月から新しくメンバーに加わっていただけることになりました。よろしくお願いします。

助成金贈呈

常滑市内児童生徒国際交流推進協議会
TSIE　福田泰造会長

いつもご支援いただきありがとうございます。夏休みの派遣事業は、無事に終了しました。この秋には、受け入れ事業が始まります。

なかなか機会がありませんが、都合がつけば、皆様にも派遣団を紹介できると良いと思っています。

今後とも、よろしくお願いします。

ファミリースマイルフェスティバル実行委員会
平野小月会長

助成をいただきありがとうございます。

今年で４回目になります。子ども向け、親子向けのイベントで、昨年は1,000名ほどの来場者がありました。今年も、たくさんの催しがありますので、是非お出かけ下さい。

◆例会行事「ゲストスピーチ」

みんなの歯医者さん院長 医学博士 樋口和徳様に「歯の健康」と題し、スピーチいただきました。

今日は、近年注目されているキシリトールについて、お話しします。

キシリトールの効果として、学校でも食後にガムをかむという提案もあるほどですが、実際はどうでしょうか？

虫歯の要因は、歯質、糖質、口内細菌の三つがそろって初めて虫歯になります。どれか一つでもかければ、虫歯のリスクは大幅に減ります。従って、細菌の餌となる糖質によく似ていながら細菌の栄養にならないキシリトールが、結果的に細菌を減少させて、虫歯のリスクも小さくすることになります。

しかし、継続的に使用すると、その内に耐性菌が生まれ、その効果が小さくなってくるようです。

従って、虫歯予防としての効果がないわけではないですが、あまり多くの期待は持たない方が賢明な様です。

誕生日祝い品贈呈

竹内寛二さん、稲葉民治さん、杉江省一郎さん、杉江雄太郎さん、おめでとうございます。

竹内さん「今月で60歳になり、いよいよ定年となりますので、その日を指折り数えております。」

第1500回

9月第2例会「1500回記念例会」　担当：指導力育成・グローバルアクション委員会
2019.09.17(火)　12:15～13:45　於：ＪＡあいち知多本部ビル

◆例会セレモニー　9月第2例会は、第1500回の記念例会で、時間も少し延長して開催されました。

会長挨拶

本日は記念すべき第1500回例会です。

本年度テーマに沿う楽しいライオンズ活動を続ける3名の方にお話を伺います。是非、皆さんの今後の活動の参考にしていただきたいと思います。

千葉県などでは、甚大な台風被害があり、復旧も遅れ、まだまだ不便な生活を強いられております。我々も、いつ被害に遭うかわかりませんので、防災意識を高めて生活していくことが大切だと思います。

本日のスペシャルお弁当です。

三役さんの楽しさへのこだわりが、こんなところにも発揮されています。

新入会員紹介

前回例会講師を務めていただいた樋口和徳さん（みんなの歯医者さん　院長）が、本日から会員として参加しております。

樋口「前回自己紹介もしたので敢えてお話することはありませんが、よろしくお願いします。」

委嘱状授与

334-A地区第66回年次大会晩餐会部長　関　豊晃さん、同副部会長　荻野裕直さんへ、ガバナーからの委嘱状を伝達しました。

関「前向きに取り組んでいきます。よろしくお願い申し上げます。」

◆会員スピーチ　佐藤博之さん、杉江省一郎さん、伊藤譲一さんに、1500回記念に当たり、ライオンズへの熱い思いや夢をおはなしいただきました。司会進行は、滝田安恵さんです。

ライオンズクラブに入会した動機は？

佐藤　博之：伯父でチャーターメンバーでもある尊敬する鈴村秀太郎さんに憧れ、その人物像を目指して入会しました。

杉江省一郎：父親がチャーターメンバーでしたので、その後を継いで入会するものと決めておりました。年齢層も幅広く様々な方々と会話をする中で、知らないことを多く知ることができるのが楽しみです。

伊藤　譲一：50周年の年に40歳で入会しました。目標とする先輩やJCなど共に活動してきた仲間と、一緒に活動したいと考えました。

印象に残った活動は…？

佐藤：30周年記念事業で、ねむの木学園を設立した宮城まりこさんの講演会が、印象に残っています。子どもに対し教える、褒めるという、大切な気持ちを教えてもらいました。角膜提供を推進したいと入会時から思っていますが、なかなか実現しておりません。どなたか、よろしく。

杉江：50周年の前年、セントレアの開港に合わせて、ロータリークラブが40周年記念事業として「とことこバス」の運行を企画し、ライオンズクラブと合同で事業化しようと持ちかけられました。クラブ内でも様々な意見がある中、RCの実行委員長の伊奈輝三氏の熱意に賛同し、LCも周年事業を前倒しして参画しました。その後のフォローも含め、伊奈氏の行動力に感心した事やクラブ内の調整にも苦心し、印象に残った活動でした。

伊藤：ボーイスカウトやJCで奉仕活動の基礎を培いました。2回経験した幹事が印象に残っています。初めての幹事は、知らないことばかりで、会長に助けられて務める事ができました。2回目は、60周年の幹事で、ライオンズの事業のあり方に関して、会長と真剣に議論しました。

活動へのこだわりはなんでしょうか？

佐藤：強いて言えば、何もしてこなかったことですが、なんとしても死ぬまで現役でやりたいということです。途中で辞めるという考えはありません。今後の夢としては、常滑クラブ独自の事業をつくること。献眼に関わる事業ができたらうれしい。

クラブの現状と今後への提案

杉江：かつて私が会長をやった頃は、メンバーも多かったが、なにより時代が良かった。現代は、地域の伝統行事にも、若者が参加しない傾向にあり、地元への愛着がなくなってきている。組織の発展には、やはりリーダーとなる人物がキーとなる。これからも、常滑イズムを大切にして、周囲に惑わされることなく、クラブ独自のポリシーを大切にしていって欲しい。スポンサーである京都クラブを見本にして、クラブの価値を高めていく必要がある。

会員減少への対応とクラブの将来像について

伊藤：年齢層の幅広さをうまく活用して、次世代育成に注力することが大切だと思う。学校や、地域の活動団体と協力して、子どもたちの活動の幅を広げていく事業展開を進めるなど、保護者へのライオンズクラブの認知度を上げていくことで、今後のライオンズ予備軍を作っていけたら良いと思う。65周年に向けて、他クラブとの交流やMSプロジェクト主導の事業も、考えていきたい。

まとめ

杉江：なんと言っても会員増強は必須である。知恵を絞って楽しい活動や事業を見つけ、若い目線を大切にして活動していくことが会員増強に繋がると思う。歴史と伝統に誇りを持ち、そしてそれを守ってきた先輩方を敬い、細かい気配りのある活動を進めていっていただきたいと思います。

この後、昨年度の決算報告、本年度予算案の発表と承認がありました。

第1501回

10月第1例会「ゲストスピーチ」
2019.10.01(火)　12:15～13:30

担当:奉仕事業・情報テクノロジー委員会
於:知多半島ケーブルネットワーク

◆例会セレモニー

会長挨拶

暑い日が続きます。台風も近づいています。伊勢湾台風から60年ということで、様々な場面で、その記録や写真を見る機会があります。私も、当時小学校4年生で、翌日学校へ行ったら、校舎が無くなっていた記憶があり、災害のない日々をありがたく思っています。

小学生の遭難など心を痛めるニュースもありますが、ラグビーや世界陸上など日本人選手の活躍が著しく、日本人の素晴らしさを再認識している毎日です。

前回の1500回例会を区切りとして、本日は第1501回と、新しく一歩を踏み出していきます。よろしくお願いします。

誕生日祝い品贈呈

中村彰宏さん、伊藤譲一さん、おめでとうございます。

祝い品の中身を披露していただきました。Lマーク入りクロスのボールペンです。

日本ハグ協会 会長　髙木さと子様に「心を届けるハグニケーション、3つの秘密」と題しご講演いただきました。

こちらに伺うのは、2回目になります。

ハグの習慣がない日本では、ハグという行為に抵抗があるようですが、スキンシップのハグばかりでなく、大きく腕を広げて、言葉、心持ちを含め存在そのものをすべて抱きしめる気持ちが大切です。

ハグが、人との繋がりに有効だという科学的な根拠はありませんが、ハグによってもたらされる、存在を認める力、コミュニケーションを高める力、相手を愛する（信じる）力によって、安心感からストレスがなくなり、結果優しく接して互いに円満に過ごせるという連鎖が起こります。

一言で言えば、相手に、ハグを受け容れてもらえる存在になる事が大切です。そのためには、心のコップを相手の栄養（気持ち）で満たし、やる気や元気をだして、心豊かに過ごせるようにしましょう。ハグは、回数ばかりでなく、質とのバランスも大切です。

互いを認め合う人との良い関係性が豊かさを生み、ひいては「幸せ」を感じられることに繋がります。

第1502回

10月第2例会「ハロウィン家族会例会」
2019.10.19(土)　17:30～19:30

担当:ハロウィン家族会委員会
於:まるは食堂りんくう常滑店

10月第2例会は、秋季家族会でした。今回は、当クラブ初めてのハロウィンパーティーとして開催され、総勢56名の楽しいパーティーとなりました。

まるは食堂りんくう常滑店ドライブインで、開催されました。

お子様やお孫さん13名を含むご家族30名のご参加をいただき、クラブメンバーの重鎮始め、皆さんが趣向を凝らした仮装でご参加くださり、ご参加の皆さんで会を盛り上げていただき、大変嬉しく思いました。

アトラクションとしてパフォーマーの「揚野バンリ氏」をお迎えして、楽しい芸を披露いただき、仮装コンテストやミイラゲームなど、子どもたちも楽しく過ごしていただけたと思います。

第1503回

11月第1例会「ゲストスピーチ」
2019.11.05(火)　12:15～13:30

担当:マーケティングコミュニケーション・会員委員会
於:知多半島ケーブルネットワーク

◆例会セレモニー

会長挨拶

今年も後二ヶ月足らずになりました。急に寒くなってきましたので、ご自愛下さい。

この秋は、台風などの自然災害や重要な建物の火災など、災害が続いています。ライオンズクラブとしても対応を考えていきたいと思っています。

今日は、恒例となっています新しく着任された中日新聞記者のお話ということで、成田記者のスピーチを楽しみにしております。

先日のハロウィン例会に続き、年末年始もご家族を交えた楽しい会が予定されています。よろしくご参加をお願いします。

誕生日祝い品贈呈

三輪一馬さん、柴山東一郎さん、伊藤文一さん、成田勝之さん、瀧田安恵さん、関　正夫さん、伊藤　誠さん、お誕生日おめでとうございます。

本日誕生日の伊藤文一さん「いくつになっても誕生日はうれしいものです。本日はありがとうございます。」

◆入会式

スポンサー　伊藤譲一さん

28歳で入会していただき、料理が趣味とのことです。若い力を発揮していただきたいと思っています。

新入会員　　大宮充晴さん

現在29歳ですが、皆さんと一緒に一生懸命活動していきたいと思っています。よろしくお願いします。

スポンサー　中村彰宏さん

10年以上前からの付き合いで、高齢者福祉に一緒に取り組んでいます。将来に向けて、活動に期待しています。

新入会員　　樋口和徳さん

今後の常滑を考え、より発展した住みよい常滑を目指して活動したいと思っています。よろしくお願いします。

◆ゲストスピーチ

中日新聞社 常滑通信局兼中部空港支局 通信局長 成田崇憲様をお迎えして、「外から見た常滑・内から見た常滑を通じて考える常滑の可能性」と題し、ご講演いただきました。

歴代の記者に続いて、お呼びいただき光栄です。

名古屋市鳴海の出身で、2011年に入社し、関市、松本市、大津市を経て、この常滑に赴任して参りました。妻と子ども二人の4人で、常滑支局の2階で暮らしており、仕事場と一体ですので、大変便利です。地域情報全般を扱う記者として、歴史と伝統が根付き、今後の発展が期待できる地域の一つである常滑に赴任でき、うれしく思っています。

実家からは車で30分程度の距離にもかかわらず、これまでは、あまり常滑と関わりはありませんでした。

今回着任して、改めてとても面白いエリアであると感じています。伝統ある常滑焼や山車まつりなど、観光地化された観光地ではない素の魅力にあふれた地域であると思いますし、海苔を代表とする海産物も、私には非常に魅力的です。一方で、発展を続けるりんくうエリアもあり、新しい魅力も十分に兼ね備えています。私の場合、そういった常滑の産業や文化への認知不足が、取材への活力に繋がっており、これらの魅力的な素材を、取材を通してアピールしていきたいと考えています。

これまで通り、常滑独自のスタイルを貫いて、これからも発展していくことを望んでいますし、市民のみなさまにも是非そういったまちづくりを目指していただきたいと思います。

第1504回

11月第2例会「ゲストスピーチ」
2019.11.19(火)　12:15～13:30

担当:奉仕事業・情報テクノロジー委員会
於:定例会場

◆例会セレモニー

会長挨拶

雪の便りも聞かれ、今年度もいよいよ佳境に入ってきて、楽しく事業を進めていただいている様に思います。これからますます寒い季節になりますが、ご自愛いただき、健康で奉仕活動に励んでいただきたいと思っています。

アワード贈呈

・ライオン・デディケーションピン
　富田　司さん
・ライオン・アクションピン
　藤井喜平さん、藤井清章さん、成田勝之さん、永田真一郎さん、柴山東一郎さん、杉江雄太郎さん、伊藤　誠さん、竹内治光さん、関　正夫さん、関　豊晃さん、荻野裕直さん、伊奈資浩さん
・マイルストーン・シェブロン・アワード
　40年在籍　藤井喜平さん、井上浩和さん
　30年在籍　亀岡廣昭さん、井上富郎さん、竹内立年さん、藤井胤男さん
　10年在籍　藤井良秀さん
　みなさん、おめでとうございます。

◆ゲストスピーチ

株式会社ドリームスカイ名古屋
国内・国際線旅客担当責任者　平岩 美貴代 様
演題「期待を超えるサービスとは」

株式会社ドリームスカイは、空港での地上業務を始め、運航のオペレーション、貨物の取り扱いなど、いわゆる空港内のハンドリング業務を行っています。私は、平成10年に入社して、国際線担当、VIP担当、総務などを経て、今の役職に至っています。

グランドスタッフとしては、時間通りの航空機運航を目指し、混雑時の速やかな業務や乗り遅れ、忘れ物への対応、時には天候への対応など、旅客すべての対応を担当します。

現在は、新人教育も担当しており、表情、言葉遣い、立ち居振る舞いなど、日頃の心構えを指導しております。常に明るく前向きに、感性的な悩みを持たないように、心がけております。

今後も、常にお客様の想像や期待以上のものを提供して、感動していただけるサービスを目指して参ります。

第1501回

10月第1例会「ゲストスピーチ」
2019.10.01(火)　12:15～13:30

担当:奉仕事業・情報テクノロジー委員会
於:知多半島ケーブルネットワーク

◆例会セレモニー

会長挨拶

暑い日が続きます。台風も近づいています。伊勢湾台風から60年ということで、様々な場面で、その記録や写真を見る機会があります。私も、当時小学校4年生で、翌日学校へ行ったら、校舎が無くなっていた記憶があり、災害のない日々をありがたく思っています。

小学生の遭難など心を痛めるニュースもありますが、ラグビーや世界陸上など日本人選手の活躍が著しく、日本人の素晴らしさを再認識している毎日です。

前回の1500回例会を区切りとして、本日は第1501回と、新しく一歩を踏み出していきます。よろしくお願いします。

誕生日祝い品贈呈

中村彰宏さん、伊藤譲一さん、おめでとうございます。

祝い品の中身を披露していただきました。Lマーク入りクロスのボールペンです。

日本ハグ協会 会長　髙木さと子様に「心を届けるハグニケーション、3つの秘密」と題しご講演いただきました。

こちらに伺うのは、2回目になります。

ハグの習慣がない日本では、ハグという行為に抵抗があるようですが、スキンシップのハグばかりでなく、大きく腕を広げて、言葉、心持ちを含め存在そのものをすべて抱きしめる気持ちが大切です。

ハグが、人との繋がりに有効だという科学的な根拠はありませんが、ハグによってもたらされる、存在を認める力、コミュニケーションを高める力、相手を愛する（信じる）力によって、安心感からストレスがなくなり、結果優しく接して互いに円満に過ごせるという連鎖が起こります。

一言で言えば、相手に、ハグを受け容れてもらえる存在になる事が大切です。そのためには、心のコップを相手の栄養（気持ち）で満たし、やる気や元気をだして、心豊かに過ごせるようにしましょう。ハグは、回数ばかりでなく、質とのバランスも大切です。

互いを認め合う人との良い関係性が豊かさを生み、ひいては「幸せ」を感じられることに繋がります。

第1502回

10月第2例会「ハロウィン家族会例会」
2019.10.19(土)　17:30～19:30

担当:ハロウィン家族会委員会
於:まるは食堂りんくう常滑店

10月第2例会は、秋季家族会でした。今回は、当クラブ初めてのハロウィンパーティーとして開催され、総勢56名の楽しいパーティーとなりました。

まるは食堂りんくう常滑店ドライブインで、開催されました。

お子様やお孫さん13名を含むご家族30名のご参加をいただき、クラブメンバーの重鎮始め、皆さんが趣向を凝らした仮装でご参加くださり、ご参加の皆さんで会を盛り上げていただき、大変嬉しく思いました。

アトラクションとしてパフォーマーの「揚野バンリ氏」をお迎えして、楽しい芸を披露いただき、仮装コンテストやミイラゲームなど、子どもたちも楽しく過ごしていただけたと思います。

◆YCE生市長訪問・ウェルカムパーティー　2019.7.11

ホスト	山口貴也さんファミリー	LC	常滑LC	期間	7月10日～7月16日
来日生	Milou Kampen さん	ID No.	HJ-1	国州	オランダ　ヘルダーランド州

7月11日、YCE国際交流事業でオランダヘルダーランド州から来日したYCE生Milou Kampen(ミル・カンペン)さんと午後に常滑市長表敬訪問、夜にはウェルカムパーティーを行いました。

パーティーではお互いの文化を紹介し、言葉の壁など何のその、ライオンズメンバーと楽しく交流を図りました。

◆国際展示場 車椅子引き渡し　2019.08.28

◆国際平和ポスター　2019.09.26

2019～2020年テーマ「平和の道のり」と題し、第32回国際平和ポスターを市内の児童、生徒さんから合計143通のご応募をいただきました。

常滑での最優秀賞3点、優秀賞7点を選び、賞状と記念品を贈呈し、2月には常滑市役所1階ロビーで掲示させていただきました。

その中から常滑中学校1年生の原田結さんが地区での最優秀作品として選ばれました。

今年の年次大会で表彰されますので、皆さんで年次大会に参加しお祝いしましょう。

◆献血運動　2019.10.05　常滑焼まつり　　2020.02.15　カインズホーム常滑店

カインズホーム常滑店にて

献血結果

	常滑焼まつり	カインズホーム常滑店
受付数	59名	57名
400ml献血	41名	48名
献血できなかった人	18名	9名

◆京都ライオンズクラブ例会訪問　2019.11.27

11月27日、スポンサーである京都ライオンズクラブ様の例会に訪問いたしました。

メンバースピーチとして、今年から導入する予定だった大学入試の英語教育にも携わられた田中雅道様から「かしこいってどういうこと：幼児教育から見えて来る世界」と題してお話を伺いました。

今回は浜松ライオンズクラブも一緒に例会に参加し、とても有意義なひと時を過ごすことができました。

その後は各々で京都のまちを散策し、夜は京都ライオンズメンバーのお店である八坂神社隣の料亭「中村楼」で楽しく歓談し、女将さんからも部屋にある掛軸の話や、お店の歴史を教わりました。

◆常滑市手をつなぐ親の会クリスマス会　2019.12.15　とこなめ市民交流センター

ゴルフ同好会

幹　事　三輪一馬

本年度の成績表です。

・第1回2019年7月4日(木)知多CC　曇　永田会長杯取りきり戦
　優勝者　勝崎　覚
・第2回2019年10月29日(火)新南愛知CC　雨　5RIZ親善チャリティー
　優勝者　東野勝彦
・第3回2019年11月6日(水)浜松CC　晴　浜松3クラブ合同
　優勝者　杉江省一郎
・第4回2019年11月23日(土)知多CC　晴　三クラブ親善
　優勝者　川原和歌
・第5回2020年1月16日(木)　晴　知多CC
　優勝者　伊藤豊廣

写楽会

藤井胤男

常滑ライオンズクラブの情報は、下記ホームページにてタイムリーに発信しております。

http://www.tokoname-lc.jp

新入会員紹介

大宮　充晴さん
H2.8.8
スポンサー　伊藤譲一
明治安田生命保険相互会社
常滑営業所　営業所長

伝統ある常滑ライオンズクラブに入会させて頂きました大宮充晴と申します。
出身は愛知県、育ちは東京です。転勤にて２０１９年４月より常滑に赴任してまいりました。仕事は明治安田生命に勤めており、主に生命保険を取り扱っております。
これからのライオンズ活動の中で諸先輩方のご指導を頂きながら奉仕の精神を学び、常滑ライオンズクラブの一員として地域活動に積極的に取り組んでいきたいと思います。未熟な若輩で至らぬ点も多々あると存じますが、今後ともご指導の程宜しくお願い致します。

水野　裕仁さん
S54.7.8
スポンサー　伊藤譲一
株式会社ヘイシン
代表取締役

２０２０年１月より常滑ライオンズクラブに入会をさせていただきました水野裕仁です。
昨年１２月までは常滑青年会議所に所属しており、皆様には大変お世話になりました、有り難うございます。常滑ライオンズクラブに入会し経験豊富な皆様から多くの学びを得たい、そして少しでも皆様に近付けるよう精進して参ります。そして常滑に奉仕できるよう励んでいきます。これからどうぞ宜しくお願い致します。

助成金アクティビティ　2019.7～2019.12

－７月分－

1．金銭　7/10　ＹＣＥ来日生ホストファミリーへ助成金　３５，０００円
2．金銭　7/11　常滑市納涼花火大会へ寄付　６０，０００円
3．金銭　7/11　常滑国際交流協会へ助成金　１０，０００円
4．金銭　7/11　とこなめ山車まつりへ助成金　５０，０００円
5．金銭　7/19　暴力追放常滑市民会議へ助成金　５，０００円
6．金銭　7/19　愛知県アイバンク協会へ賛助会員会費を贈った。　３０，０００円

金銭奉仕　６件　１９０，０００円　　労力奉仕　なし

－８月分－

金銭奉仕　なし　　労力奉仕　なし

－９月分－

1．金銭　9/3　常滑市児童生徒国際交流推進協議会（ＴＳＩＥ）へ助成金贈呈　１００，０００円
2．金銭　9/3　ファミリースマイルフェスティバルの行事に協賛金　１０，０００円
3．金銭　9/3　愛知 Aichi　Sky　Expo への車椅子寄贈　１５１，４００円
4．金銭　9/12　常滑商工会議所が実施する「陶と灯の日」の行事に協賛金　１０，０００円
5．金銭　9/26　平和ポスター参加者１４３名の応募があり、優秀賞３名 入賞７名を選出
優秀賞・入賞・参加賞を贈った。　９０，５００円
労力　２Ｈ×２名＝４人時　４時間

金銭奉仕　５件　３６１，９００円　　労力奉仕　１件　２時間

－１０月分－

1．労力　10/5　常滑焼まつり会場ボートレース東入場口にて第１回献血活動を実施。献血者にお礼として液体洗剤を進呈。　４３，２００円
献血呼びかけにティッシュペーパーを配布。
献血手伝い３Ｈ×１０名　３０時間
200ml　０名　400ml　４１名

2．金銭　10/9　薬物乱用防止教室用に冊子３６５冊とＤＶＤ４枚を購入した。　４８，２３５円
労力　10/9　常滑市立大野小学校にて６年生２クラス（４２名）を対象に薬物乱用防止教室を開催
５人×１Ｈ＝５人時　５時間

金銭奉仕　２件　９１，４３５円
労力奉仕　２件　３５時間

－１１月分－

1．金銭　10/29　５Ｒ１Ｚ親善チャリティゴルフ大会に１１名参加。チャリティ金を「半田特別支援学校」へ贈った。　６２，５６６円
2．労力　11/13　常滑市立西浦北小学校にて６年生１クラス（２６名）を対象に薬物乱用防止教室を開催
５人×１Ｈ＝５人時　５時間
労力　11/18　常滑市立鬼崎南小学校にて６年生４クラス（１３３名）を対象に薬物乱用防止教室を開催
５人×２Ｈ＝１０人時　１０時間
3．金銭　11/15　ＬＣＩＦ　＄１０００献金を８名が献金した。
１０９円×８名×＄１０００＝８７２，０００円
4．金銭　11/19　第４５回「常滑市伝統芸能唯子発表会」の行事に協賛金　３０，０００円

金銭奉仕　３件　９６４，５６６円
労力奉仕　２件　１５時間

－１２月分－

1．金銭　12/14　常滑市手をつなぐ親の会クリスマス会に助成金を贈った。　３０，０００円
労力　サンタクロース役１人×２Ｈ＝２人時　２時間
2．金銭　12/20　１２月２０日～１月８日迄ＹＣＥマレーシア冬季派遣する山口穂乃佳さんに５０，０００円を助成した。　５０，０００円

金銭奉仕　２件　８０，０００円　　労力奉仕　２時間

編集後記

早いもので 2019-2020 年度も半分が過ぎました。
会長が掲げるテーマどおり皆さん楽しく例会、アクティビティにご参加いただいています。
これからも益々楽しいライオンズ活動になっていくと思いますので、こうしたワクワクした模様を会報でお伝えしてまいります。

常滑ライオンズクラブ
会　長　権田　泰一
幹　事　藤井　良秀
会　計　阿知和洋介
第二副会長　伊藤　譲一
一年理事　竹内　治光

マーケティング・コミュニケーション委員委員会
委員長　関　豊晃
副委員長　富田　司
副委員長　東　公大
委　員　伊藤　豊廣
委　員　井上　浩和
委　員　大宮　充晴
委　員　川原　和敏
委　員　藤井　嵐男
委　員　松下　英勝
委　員　水野　裕仁